

**第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会**  
**滋賀県開催準備委員会**  
**第2回宿泊・衛生専門委員会 議事録（概要）**

**1 日時**

平成31年(2019年)2月7日(木) 10:00～11:15

**2 場所**

滋賀県大津合同庁舎3階 3-A会議室

**3 出席委員**（五十音順、敬称略）

岡本 茂胤、小田 隆司、小野寺 和徳、北川 宏、北川 義治、木屋 博隆、小西 眞、  
嶋村 清志、辻 浩司、内藤 慎吾、林 宏一、人見 能暢、古田 益夫、松波 典代、  
三橋 進（代：田中 充）、山本 清藏、吉成 永部  
（委員数 17名出席）（欠席 岩川 裕美、福永 亮順、松田 千春、渡辺 千春）  
（事務局：高木事務局次長、事務局職員3名）

**4 配付資料**

別添のとおり

**5 会議概要**

**（1）審議事項**

|   |
|---|
| <p>※事務局から、<br/>「（1）宿泊基本計画（案）」を説明。原案どおり承認。</p> |
|---|

**【質疑・提言】**

（委員）

今年度開催された障スポで、選手団に随行したが、ある宿泊施設では、滞在した5日間の中で、カレーが3回、メニューとして出た。できる限り、同じメニューとならないように、今後作成する標準献立を十分に活用してほしい。

また、宿舎におけるアレルギー対策についても十分に検討してほしい。ペット同伴のホテルに泊められたことがあり、動物系のアレルギーをもった人で宿舎を変更しなくてはならなかった。食品のアレルギーについても、事前に食品アレルギーを申告していたのに実際宿泊するときには、宿泊施設が把握していない状態であった。

車いすの移動介助などのバリアフリーの講習についても、接遇講習会の中でお願いしたい。

（事務局）

準備を進めていく中で対応していきたい。

（委員）

宿泊支援用具等のレンタルは、旅館から申請があればしてもらえるのか。

(事務局)

先催県においては、各都道府県選手団の方からの申請があれば、それに対応するかたちで提供されていた。

**※事務局から、  
「(2) 医事・衛生基本計画(案)」を説明。原案どおり承認。**

**【質疑・提言】**

(委員)

医療救護対策については本委員会が所管であるのか。個別に医師に派遣することを依頼するのは難しいため、医師会等を通じて依頼していくことになると思われる。

(事務局)

お見込みのとおり。今後、部会を設置し、関係団体の方々と審議して対策については進めていく予定である。

(委員)

県旅館ホテル生活衛生同業組合においては、各宿泊施設においてHACCPによる食品の衛生管理対策を推進しているので、ご承知おきいただきたい。

(委員)

医療救護のパンフレット等を今後作成するのか。作成する際は、障害者スポーツ協会に内容の確認をとってほしい。

(事務局)

今後、作成していくこととなるが、その際には相談させていただきたい。

(委員)

盲導犬対策に係る文言を加えていただくように前回の専門委員会をお願いしたが、今回の基本計画では文言に加わっていない。事務局の考えはどのようなようであるか。

(事務局)

今後、実施要領等の具体的なものを作成していくなかで、検討していきたい。

**※事務局から、  
「(3) 専門委員会部会設置要綱(案)」を説明。原案どおり承認。**

**【質疑・提言】なし**

**(2) 説明・報告事項**

**※事務局から、  
「(1) 宿泊基礎調査結果について(概要)」を説明**

## 【質疑・提言】

(委員)

全国障害者スポーツ大会の選手団へ客室を提供するには、どのような設備が必要であるかを説明した上で提供意向について聞いているか。

(事務局)

各宿泊施設のバリアフリーの状況については確認をしたが、障スポの客室提供の際には設備等に何が必要であるかについては説明を行わず、提供意向について確認した。

(委員)

障スポへの客室提供可能率が低いが、おそらく宿泊施設側の介助が必要という意識からこのような結果になったと思われる。しかしながら、競技によっては、まったく介助が必要ないものもあるので、次回調査を行う際は、その点も説明した上で、提供意向を確認していただきたい。

(委員)

今回の調査は、回答率が75%であった。残りの未回答の宿泊施設については今後調査を行うのか。

(事務局)

本年度基礎調査を行ったが、開催2年前には実態調査を行う予定である。その中で、未回答の宿泊施設にも調査を行い、宿泊施設のデータの精度を高めていく。

(委員)

今年度の福井国体においても、最初に宿泊施設の調査を行った時点ではだいたい同じぐらいの提供人数だったと思われるが、最終的には本大会の配宿は、充足したのか。

(事務局)

充足した。

(委員)

宿泊基礎調査で調査した内容を具体的に教えてほしい。

(事務局)

宿泊施設の基礎的な情報、和室・洋室等の客室数や駐車場やバリアフリーの有無などについてA4両面1枚を宿泊施設に送付し、回答いただくかたちであった。国民スポーツ大会に何名提供できるかについても、現時点で提供いただける部屋数、人数を記入する欄を設けた。

(委員)

今回の調査対象施設の中に民泊施設は含まれているか。また、福井国体では民泊は実施されたか。

(事務局)

当該調査には含まれていない。また、福井国体では民泊は実施されなかった。

※事務局から、

「(2) 福井しあわせ元気国体・大会視察報告」、 「(3) 福井しあわせ元気国体・大会参加者アンケートの結果概要について(宿泊・衛生分野)」を続けて説明

【質疑・提言】

(委員)

要望であるが、障スポの宿泊等の実態を把握するために、可能であれば、今後開催される障スポにおいて事務局員や当専門委員会委員の方々に障スポの選手団に随行して視察いただきたい。

障スポは、全員がまとまって行動するため、飲食店を利用することはなく、期間中は、いつも弁当を食べている。全体の食数も障スポがメインであることから弁当メニューは、国体メインではなく、障スポをメインにして食べやすさなどを考えていただきたい。

(事務局)

事務局として今後体制を強化していくなかで、そのような対応が可能か考えていきたい。弁当については、今後設置する部会の中で検討していきたい。

(3) その他

※事務局から、今後の専門委員会のスケジュールについて説明

【質疑・提言】なし

(以上)